

西中だより

平成28年度 No.13
平成28年 9月 6日
須賀川市立西袋中学校
発行責任者 鶴巻 弘士

&&& 2学期の始業式の様子から「夏休みの反省と2学期の抱負」 &&&<敬称略>

25日の第2学期始業式で、それぞれの学年を代表して3人の友達が、夏休みの反省と2学期に向けた抱負を発表してくれましたので、その一部を紹介します。(注:表現を一部変えさせてもらいました。)

- **星 拳翔(1年2組)**:自分は、初めての夏休みをととても充実した休みにすることができました。特に頑張ったことが二つあります。一つ目は、部活動です。野球部は一日練習を行い、3年生が引退したので練習量が増えましたが、暑さに負けず積極的に部活動に参加することができました。二つ目は、計画的に夏休みの宿題を終わらせることができたことです。2学期の抱負は、9教科で行われる中間テストに向けて、先生の話をよく聞いて、授業に取り組んでいきたいと思ひます。ー以下、省略ー
- **新井木乃香(2年2組)**:夏休みの反省は三つあります。一つ目は、学習面です。今年は合唱部の活動に加わり、去年に比べてとても忙しくなりました。二つ目は、生活面です。大会に向けて毎日部活があったので、規則正しい生活を送ることができました。家の手伝いもしっかりできました。三つ目は、部活面です。合唱は、喉がとても大事です。そこで、体調を絶対に崩さないようにしていました。そのお陰で練習を1回も休むことなく、大会に臨むことができました。ー以下、省略ー
- **倉田健太郎(3年3組)**:あつという間に1学期が終わり、中学校最後の夏休みは、去年までとは大きく違うものでした。良かった点は、部活動面です。陸上の朝練習があったため、ほぼ毎日規則正しい生活ができました。・・・東北大会に行けたこと、楽しく競技できたことは先生方や仲間達の支えがあったからだと思ひます。反省点は、学習面です。夏休みの前半、陸上に力を入れたため、宿題を最後の方まで残してしまいました。2学期は、志望校合格に向けて、今まで以上に学習に取り組まなければいけないと思ひます。学年全体が、落ち着いた雰囲気の中で、学習できるように、一人一人の意識も高まってほしいと思ひます。ー以下、省略ー 【以下、第2学期始業式の様子】



《 校長のつぶやき 》・・・心身共に逞しくなった子ども達「支部駅伝大会より」・・・

- 駅伝チームは、毎日学校の周囲や校庭を走って来ました。中でも3年生は、部活動が夏休み前に終了したにもかかわらず、1・2年生を常にリードしながら練習に取り組み、自分が経験したことをいろいろと後輩に教えてくれました。1・2年生が思い切り活躍できたのも3年生の支えがあったからです。
- 結果は、男子Aチームが2位、男子Bチームが5位で、女子チームが3位と出場した全てのチームが入賞を果たしました。これは素晴らしいことであり、チーム西袋として心身共に大いに成長してくれた証です。その陰で、子どもの健康に気遣い、毎日気持ち良く練習に送り出して頂いた各家庭に対して、心から感謝と御礼を申し上げます。今後もチーム西袋のためにご支援ご協力をお願いします。
- さて、結果も大切ですが、そこに至る過程を大切にしてほしいと思ひます。他チームと競い、その中で自分の力を発揮することは、大変緊張し、疲れることです。今回の経験を今後の学習や部活動に生かしてくれることを、心から願ひます。そして、来年度こそは優勝を果たしてくれることを期待します。

